

JCI岐阜の伝統と革新

1945年、戦争で廃墟となったぎふのまち。人々は、焼け跡の整理、食料の確保に奔走し、占領下経済の混乱の中で、再起復興に懸命な努力を重ねました。このような社会背景の中で、「今後の経済問題についてお互いに研究し合おう」という若手経済人により1950年に「経友会」という会が結成されました。



1949年の東京青年会議所発足を始め、各地で青年会議所設立の機運が高まりつつあったこと、また財界名士の方々から設立を勧められたことを踏まえ、経友会が母体となり、名古屋青年会議所にスポンサーをお願いし、1951年6月24日、全国で21番目の青年会議所として会員43名で発足しました。

その後、着実に地元の青年経済人の間で根付き、昨年度71周年を迎えました。昨今のコロナ禍でも活動の歩みを止めることなく、オンライン対応に変化させたり、活動の機敏性を高めるために公益社団法人から一般社団法人へと法人格を移したりと、時代に合わせて変化しながらも組織の理念を大切に活動を継続してきました。これからも脈々と引き継がれてきた伝統を守り、やり抜く力を発揮することで、昨今の時代の大きな変化に対応していきます。

JCI岐阜について

JCI岐阜（一般社団法人 岐阜青年会議所）は、岐阜市を中心とした地域において「明るい豊かな社会」の実現を目指し、「ひとづくり・まちづくり」運動を展開する青年経済人の団体です。私たちは「明るい豊かな社会」の実現に向けて、歩むべき道筋を、まちづくり運動ビジョンとして策定し、活力溢れ、持続可能なまちの賑わいを創出します。

また、「社会への奉仕」を行う中で、様々な活動を通じて「個人の修練」の機会や「世界との友情」を得られ、さらなる活動の力としています。私たちメンバーは、皆この「JC三信条」を活動の基本におき、次世代を担う責任をもって主体的に活動を行っています。

JCI岐阜は、これからも明るい豊かな社会の実現に向けて、ぎふのまちに必要とされ続ける団体として、多くの市民が共感することのできる事業を展開していきます。



JCI岐阜 まちづくり運動ビジョン

JCI岐阜は、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、数年ごとにまちづくり運動ビジョンを作成し、「ひとづくり・まちづくり」運動に取り組んでいます。私たちは、次のような目指すべきまちの未来像と、運動方針を掲げ、活動を展開していきます。

人口減少が進む現代において、地方都市であるぎふのまちが地域の活力を失うことなく持続発展していくまちとなるために、地域の課題解決と次代を担う若者の積極的な参画が必要です。若者の積極的なまちづくり活動によって、行政だけでなく各種団体・コミュニティ・企業・市民を巻き込み、そこから生まれる個性的な発想や、魅力的な取り組みによって多くの市民が、身近な課題に気づき、自らが地域課題を解決するためのムーブメントを起こしていきます。そして、ぎふのまちは若者を中心に市民が理想の未来を語り合い、夢や希望を叶えるための先進的な試みに心を躍らせ、国内外のひとが面白さと可能性を求めて集まるまちとなるのです。



一般社団法人 岐阜青年会議所はまちづくり運動ビジョンに掲げるまちにするために、**ぎふのまちに必要な要素を3つ定めます。**



それぞれの要素を運動方針として定め、発信していきます。

運動方針		
まちの未来を担う若者の躍動と若者が主体となるフィールドの創造	行政・各種団体・コミュニティ・企業・市民とのパートナーシップによる多様な価値創造と課題の解決	夢や希望を叶えるため誰もが挑戦できる心躍る環境の創造

青年会議所とは・・・

青年会議所(JC=Junior Chamber)は「明るい豊かな社会」の実現を理想として運動する20歳から40歳までの青年経済人の団体であり、地域(都市または市町村)ごとに組織されています。それぞれの青年会議所、そしてメンバーは、1年の任期の中で様々な役割を担い、まちの活性化・発展のために事業を展開しています。

個人の運動が世界に繋がります(2022年12月現在)

Gifu 17団体
約540人

Japan 684団体
約29,000人

International 117の国と地域
約14万人

JCI岐阜では一緒に活動する青年経済人を募集しています！

青年会議所は20歳から40歳までで構成されている青年経済人団体です。活動においては「個人の修練」「社会への奉仕」「世界との友情」の3つの方針のもとに、自身の成長とまちへの社会貢献を目的としています。活動中での出会いや学びは、自身を成長させ、「やり抜く力」をもったリーダーになるきっかけとなります。岐阜青年会議所では、一緒に活動する青年経済人を募集しています。興味をもった方は是非お気軽にお問い合わせください。



※2022年度またはそれ以前の事業写真を使用しています。

JCI岐阜とSDGs

SDGs(エスディーゼーズ:Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2016年から2030年までの国際目標です。

全国各地の青年会議所が、SDGs推進団体として長期的、共通的な事業を通じてSDGsを推進しており、JCI岐阜としてもSDGsの達成に向けて様々な事業を展開しております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



JCI Junior Chamber International Gifu
一般社団法人 岐阜青年会議所



〒500-8833 岐阜県岐阜市神田町2-2 岐阜商工会議所内
TEL:058-264-8091 10:00~12:00/13:00~17:00(土日祝日除く)
FAX:058-264-0444
URL:https://www.gifujc.or.jp E-mail:info@gifujc.or.jp
2-2 Kanda-Machi Gifu-City Gifu-Pref.,JAPAN 500-8833



TO THE FUTURE 2023

心躍るまちの実現へ、やり抜こう！
未来を創る先駆者であれ！



JCI Junior Chamber International Gifu
一般社団法人 岐阜青年会議所

心躍るまちの実現へ、やり抜こう！ 未来を創る先駆者であれ！

ごあいさつ



第72代理事長 小野 慶太

一般社団法人岐阜青年会議所は1951年の創立以来、岐阜市を中心とする地域において、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、「ひとづくり・まちづくり」運動を展開してきました。健全な子どもたちを育むための青少年心身育成事業、地域をけん引する人材を育成するためのリーダーシップ開発、まちに継続的な賑わいを創出するためのまちづくり事業や政策提言など、様々な分野においてぎふのまちの発展に寄与するため活動を行っております。2020年度には、まちづくり運動ビジョン「ひとびとが躍動し 持続発展するまち ぎふ〜ひとの可能性が集い 繋がりが 発揮されることで輝くぎふの未来〜」を策定し、「若者の力の発揮」「多様なひととの繋がりが」「居心地の良い土壌づくり」の3つの運動方針を定めて活動を展開しています。

歴史的文化資源が数多く残り、都市機能と自然が調和した中核都市として発展してきたぎふのまちにおいても、人口減少や少子高齢化など多くの社会課題を抱えており、活力が低下する懸念があります。そこで、2023年度は、**やり抜く力(GRIT)**をテーマに掲げ、心躍るまちの実現に向けて活動し、ぎふのまちの活力向上に繋がります。高い目標の実現に向け、情熱をもち粘り強く取り組み続けるためのやり抜く力をもつことで、周囲の人々にポジティブな影響を与え、成果の共有を通じて新たなひとの繋がりを創り、多様な人々と協調して課題解決に取り組むことを可能にします。直面する様々な課題を先駆けて解決していくことでロールモデルができあがり、県内外から多くのひとが集まる心躍るまちとなっていくのです。

創立から72年目を迎えるにあたり、これまで永きに亘り活動を続けてこられたのも、行政並びに各種団体の皆様、市民の皆様そして諸先輩方のご理解とご協力の賜物です。地域の皆様に支えられ活動させて頂いていることに感謝し、変革の能動者としての自覚と責任をもって「明るい豊かな社会」の実現に向けて邁進していく所存です。本年度も一般社団法人岐阜青年会議所の活動に、皆様の変わりぬご支援とご協力を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

基本方針

【CD(コミュニティ・ディベロップメント)グループ】
・若者の思いが実現する土壌を創り、国内外の注目を集める心躍るまちの実現へ

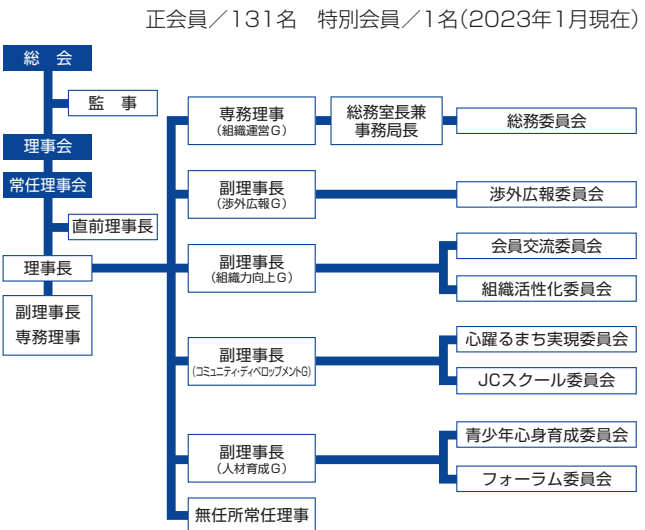
【組織力向上グループ】
・やり抜く力を発揮する組織が、ぎふのまちの持続発展を実現する

【人材育成グループ】
・やり抜く力を獲得し、新たな価値を創り出す人材になろう

【渉外広報グループ】
・新たな視点を獲得し、成果の最大化に繋げよう

【組織運営グループ】
・プロセス重視の姿勢を継承し、持続可能な組織へと変革していこう

一般社団法人 岐阜青年会議所2023年度組織図



2023年度主な事業(予定)・・・表内の数字は上記事業の番号と対応しています

	1月	2月	3月	4月
市民参加型事業			③若者フォーラム(3月例会) 3/18(土) ●まちづくり実行委員会	④JCスクール事業(4月例会) 4/1(土)
メンバー向け事業	①新年賀詞交歓会(定時総会・1月例会) 1/18(水) ●京都会議(京都) 1/19(木)～22(日)	②会員交流例会(2月例会) 2/17(金) ●伊勢一泊研修・正副理事長と語る会 2/11(土)～12(日)		

組織力向上グループ

やり抜く力を発揮する組織が、ぎふのまちの持続発展を実現する

柔軟に対応する力を高めるために新たな価値観をもつ同志を迎え入れ、メンバー同士が交流し結束する力を高める機会を作ること、組織力の向上へと繋がります。強い信頼関係で結ばれたメンバーが、目標を共有し前向きに活動することで、複雑化された困難な課題にも立ち向かえる結束する力をもった組織へと成長します。

①新年賀詞交歓会(1月例会)

日頃よりご支援ご協力を頂いている、行政、各種団体や諸先輩方と新年を祝うと共に、お互いの関係をより深める機会を作ります。また、本年度の活動方針と組織の気概を示すことで、活動の共感に繋がります。



④JCスクール事業(4月例会)

入会1年目のスクール生を中心にJC三信条であるトレーニング・サービス・フレンドシップに基づき、事業を実施します。JCI岐阜が丸となって行動すること、まちに賑わいを創り、メンバーの結束を高めます。



⑦青少年心身育成事業(7月例会)

日常では得られない経験から、好奇心を育み、自身がやりたいことを見定め、自分で目標を決められる人材となるきっかけとしてもらいます。また、いくつもの困難を乗り越えることで、最後まで諦めずに挑戦すれば自分でも達成できることを学んでもらい、自信をつけてもらいます。



記載のアイコンは、2023年度事業にて取り組む予定の目標をSDGsのゴール番号として記載しています。

コミュニティ・ディベロップメントグループ

若者の思いが実現する土壌を創り、国内外の注目を集める心躍るまちの実現へ

JCI岐阜はまちに変革を起こす仕組みをぎふのまちの社会経済活動に落とし込むための活動を展開します。若者の発想を起点としたまちおこし政策を実現し、中心市街地全体に県内外から多くの人々を呼び込む仕組みを生み出すことで、ぎふのまちの人々に明るいまちの未来に対する期待感を高めて頂きます。

②会員交流例会(2月例会)

直接的な交流を通じて、メンバーそれぞれの人間性を知り、互いに興味関心をもつことで、互いの思いを尊重した信頼関係を構築するきっかけを作ります。



⑤わんぱく相撲「岐阜場所」

小学生を対象に、30年以上の長きに亘り行われてきた「わんぱく相撲」では、礼儀を知り礼節を学ぶ共に周りの方の支えを感じることで感謝の気持ちを学ぶことができます。また、目標に向かって最後まで諦めず戦うことで、最後まで挑戦する力を養って頂きます。



⑧まちづくり例会(8月例会)

まちの賑わい創出に情熱をもつ多様な人々を集い、まちづくり実行委員会(仮称)を組織します。まちづくり実行委員会が中心市街地で実施するまちおこし事業の運営を補助し、県内外から多くの人々を呼び込み新たな賑わいを創出する仕組みを、社会経済活動に落とし込みます。



人材育成グループ

やり抜く力を獲得し、新たな価値を創り出す人材になろう

様々なことに興味関心を持ち、広い視野から自身が成し遂げたい目標を見つけ、挑戦を繰り返すことが目標の実現に繋がるという思考を獲得することで諦めず努力する人材へ成長していく機会を創出します。また、青少年の育成においては、実体験を通して成功体験を積むことで、自分で目標を決め、諦めず挑戦できる大人へ成長するきっかけを作ります。

③フォーラム事業

自身の内面を深く見つめることで、本来の自身の理想を設定する力と、自身の考え方や物事の見方を把握し、繰り返し努力ができる成長思考をもつことの重要性を学んで頂き、大きな壁に直面しても立ち向かい続けられる人材となるきっかけを作ります。



⑥家族例会(5月例会)

家族や周りの支えてくれる方に感謝の気持ちを表すと共に、参加者同士が楽しく交流し、メンバーが互いのことを深く知り思いやりの気持ちをもつことで、更に信頼関係を高めていくきっかけとしていきます。



⑨市長例会(11月例会)

岐阜市長をお招きし、JCI岐阜が行った1年間のまちづくり運動に対して総評を頂くと共に、行政によるまちづくりの方向性について市長自ら語って頂き、まちづくり運動への気運を高める機会とします。

